

HO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1996. 2 . 98号



1月20日 別院での1周年忌総追悼法要

阪神・淡路大震災

阪神・淡路大震災から一年を迎え、行政をはじめ、各団体が追悼の行事を行いマスメディアによって特別報道がなされた一月十七日。二十日土曜日午後一時半より、本山、各被災寺院でも一周忌の追悼法要が厳修された。淡路大震災災害対策現地本

一周忌総追悼法要

各寺で17日・別院は20日厳修

本願寺神戸別院では十七日を迎え、行政をはじめ、各団体が追悼の行事を行いマスメディアによって特別報道がなされた一月十七日。二十日土曜日午後一時半より、本山、各被災寺院でも一周忌の追悼法要が厳修された。淡路大震災災害対策現地本

でかけていただき語りかけてください」と述べた。引き続き、震災で全焼した神戸西組信行寺住職の米田睦雄師(勸学寮部長)より法話をいただき、最後に「みほとけにいだかれて」を唱和して終了した。この歌が終わるまでには、参拝者の中には涙で一杯の方もあり、それぞれが思い思いにこの震災からの一年、また亡き方を思いおこされたようであった。

神戸別院の門徒で大阪府三島郡から参拝の森久栄さんは母親信枝さんを長田区で亡くされ、「母と同じくらしいの年齢の人を見ると母のことを思い出す。今新しく元の所に家を建てているが、早く神戸に戻りたい」とりあえず、そこから思う「と涙ながらに話された。なお、午前中には伊井智昭総務と松村庶務部長が、土基教務所長、田中議長、山本組長会長とともに被災寺院の巡回をし、神戸東組妙善寺(上田泰明住職)神戸西組普賢寺(北村顕昇住職)同組教信寺(山本政秀住職)同組善海寺(阿部敏之住職)神戸湊組広福寺(楠誓也住職)神戸中組報恩寺(上谷良昭住職)の現状を見られた。

毎晩八時には就寝すると言う人がいた。嬉しそうに、「世界中の夢をみにならなから、早く寝る間に合わない」それが口癖であった。実生活は、朝は朝屋、夜は夜屋働きづめに働く人であった。夢が唯一の楽しみ。厳しい仕事を離れての安堵の一刻がむしやりに働くだけでは人間界に生まれた甲斐がない。真実法に遇わさせてもらうこそ本当の幸せ。何度も何度も聞かされ知り抜いている筈。だが、目覚めれば多忙極まる現実が。一日二十四時間、一秒たりとも無駄に過ごしたくない意気込みをいつまで持ち続けるのか。否、その意気込みが全て無駄ではないのか。夢の又夢に浮かんで消え行く。◆現実から逃避できない生命。夢に遊び、夢を恋し流れ行く。その人の十三回忌も最早済んだ◆何の為に、何の目的で生まれてきたのか、お念仏の教は即答する。金輪際人間界なんかには生まれたくない。そんな悲しい、苦しい思いをしている人々が今、生きています。(山田正道)

教区だより		2・3月	
14日(水)	完成記念法要準備委員会 永代経開闢法要	10時半 1時半	大阪
15日(木)	兵庫教区救援隊シンポジウム	別院	滋賀方面
15日(木)~16日(金)	別院常例法座 竹内俊之師	1時半	豊岡教室
17日(土)	教区若婦人の集い	12時半	1時
19日(月)	連研推進委員会	2時	1時
20日(火)	別院仏婦報恩講	1時半	1時半
21日(水)~22日(木)	教区門徒総代会一泊研修会	別院	1時半
27日(火)	布教団基幹運動研修会	10時半	1時半
27日(火)~28日(水)	近畿ブロック仏婦推進懇談会		大阪
3月2日(土)	第一土曜仏教講座 藤井聡之師		1時半
4日(月)	青年僧侶の会研修会		3時
6日(水)~7日(木)	寺婦研修旅行		滋賀方面
9日(土)~10日(日)	豊岡教室永代経法要		豊岡教室
12日(火)	日校指導者研修会		1時
13日(水)	光明園追悼法要		1時
14日(木)	別院永代経開闢法要		1時半
15日(金)~16日(土)	別院常例法座 宏林教正師		1時半
19日(火)~21日(木)	別院彼岸会 杉本堅正師		1時半

平成8年度 門推中央教修 開催日のお知らせ

平成8年度の門徒推進員中央教修開催要項が決まり、既に各組長宛にご通知しておりますが、開催期日をお知らせしますのでご参考下さい。

第百十二回 5/24(金) 5/27(月)
第百十三回 7/13(土) 7/16(火)
第百十四回 9/13(金) 9/16(月)
第百十五回 10/19(土) 10/22(火)
第百十六回 11/29(金) 12/2(月)
第百十七回 2/8(土) 2/11(火)
第百十八回 3/7(金) 3/10(月)

定員に達した場合は締切日(三週間前)以前でも受付を締切ります。

なお、対象者の年齢は六十五歳未満、募集人数は五十人(開催につき)となっています。詳細についてのお問い合わせは教務所(担当竹内)まで。

お彼岸の「法」をご門徒へ

年三回(お盆・報恩講・春彼岸)発行しております法シリーズ。今回は春彼岸号を作製しました。一部見本に同封いたしますので、ご門徒向けの文書伝道にご活用ください。今回も一部二十円(送料実費)で百部以上は無料で寺号を印刷します。なお、寺号印刷の場合は一週間程度日数を要しますのでお早めにお申込みください。



寺号印刷は上記のように

敬 弔

尾家顕正師(おいえ・けんしょう)加古川組西福寺(衆徒)一月二十三日、八十三才で往生。葬儀は一月二十四日、明石市の自宅。「普照院釋正」

阪神・淡路大震災 義援金

阪神・淡路大震災義援金の教務所へ届けられたもの(12月1日から1月31日まで)を掲載させて頂き紙面をかりて厚く御礼申し上げます。(敬称略・受付順)

尚、1月31日現在義援金総額九億三千八百九十九万四千四百六十六円をお寄せ頂いております。

▽大阪教区緊急対策本部二十七万六千二百円▽滋賀教区護法組正福寺尼講九千七百七十一円▽岡山組四万五千二百円▽東京教区埼玉組最勝寺三十万八千七百八十四円▽岡山組九万四千三百九十九円▽愛知県清水操二千円▽城崎組西楽寺一万六千九百九十九円。

建設懇志進納総額 二十億九千七百七十四万八千八百二十八円(91%)
(96年1月31日現在)

ひとり芝居蓮如さま

仏壮大会に五百六十人参加

兵庫教区仏教壮年連盟（出田理事長）では第二十一回大会を神戸別院大会として、一月二十八日、神戸別院一階のホールにて五百六十人が一堂に会して開催した。

この大会は「蓮如上人に学ぶ」のテーマに基づき、また、若い会員にアピールするため、通常では基調講演を行うところ、この新しくなったホールの照明や音響施設をフルに活用できることもあり、理事会において、是非とも新屋英子さんの演ずるひとり芝居「わたしの蓮如さま」をとの要望



新屋英子さん演ずる「わたしの蓮如さま」

休憩をはさみ、いよいよひとり芝居の開演。出入口を締切り、真っ暗の中から舞台上にスポットがあたり、蓮如上人のそばに仕えた架空の女性「とめ」の語りで蓮如上人の幼時から北陸路吉崎までの苦難に満ちた半生を語るといふもの。

公演終了後、カーテンコールにより、新屋さんが登場して「私もはじめは何も分かりませんでした、この芝居を通して蓮如上人や親鸞聖人のこと学ばせていただきました」とあいさつ。

閉会式には副理事長の田中忠雄氏から「この大会を機縁として聞法・伝道場に積極的に参加されることを念じます」と述べ、仏壯連盟未結成寺院門信徒の皆さんに仏壯連盟加入を勧めて閉会となった。

参加された山下広美さん（岡山南組法親寺）は「普通の講演も良いですが、分りにくい面もあり、実際にこういう形で聞くと、みじかに受け取れますし、やさしくみ教えを聞かせていただけてよかったです」また、藤井勉さん（新宮組浄教寺）は蓮如上人の半生がよくわかり、宗門の一端も聞かせていただけてよかったです。また、六十六歳で公演いただいた新屋さんの若さに敬意を表します」と感想を述べた。

阪神・淡路大震災から1年 寺族・門徒死者は1306人に 寺院復興計画アンケートを実施

阪神・淡路大震災の死者については、当初五千五百余人と発表され、昨年末六千三百八十八人（自治省・国土庁まとめ）と訂正された。本願寺派の門信徒については五月三十一日現在九百五十五人（教区新報90号）

を把握していた。その後、被災地域の寺院からの報告により、千百十三人まで把握することができたが、昨年十一月災害対策本部より全教区に調査依頼をした結果、新たに東京教区から鹿兒島教区まで二十三教区から二百人近くの報告があり、一月三十一日現在寺院十一人を含め千三百六十八人となった。

亡くなられた門信徒の遺族には、全国より寄せられた義援金より各五万円に弔慰の手紙が添えられて送られており、新たに報告のあったものも一月末日までに所属寺院を通してお届けすることになっている。

寺院の現状については、震災後一年で本建築にて竣工したのは神戸西組徳善寺

（岡崎満利雄住職）のみである。また大震災救援復興貸付金は四十カ寺からの申請（内全焼2、全壊12）が出されているが、まだまだ復興の計画の立たない寺院や行政の区画整理事業の關係などと復興の目処の立たない寺院も多くなる。

詳細については被災寺院二百六十七カ寺に対して一月二十日付で「阪神・淡路大震災寺院復興修復計画中間報告」のアンケートをお願いし、月末までに回答いただくことになっている。

回収率%をめざしておりますので、未回答の寺院におかれましては早急に返信下さいますようお願い致します。

阪神・淡路大震災被災門徒死亡届け組別一覧 (1996年1月31日現在)

組名	死者数	組名	死者数
阪神東組	3	網干組	3
阪神南組	15	揖亀東組	2
阪神西組	116	揖亀西組	10
阪神北組	23	赤穂南組	4
神戸東組	439	赤穂北組	3
神戸中組	74	粟用組	4
神戸湊組	91	佐紀組	2
神戸西組	22	多東組	4
北摂組	13	水上東組	2
神路組	34	水上西組	3
淡路組	9	朝来組	1
播磨東組	2	城崎組	3
播磨中組	5	岡山南組	2
加古川組	2	岡山北組	2
高砂組	4	別院区	11
神姫東組	1	他教	176
神姫南組	2		
神姫中組	3		
神姫西組	1		
合計	4	合計	1295

六甲庵最後の催し

HO日誌

◆1月8日別院・教務所事務始業式◆10日青年僧侶の役員会を別院で◆12日仏婦委員総会を別院で◆二月十七日開催の若婦人の集いの内容について。仏婦連盟役員で本堂金華縁別注の懇志が集まったことも報告◆岡山南組源照寺より別院に団体参拝◆14日本願寺神戸別院代経開闢法要震災で全焼した神戸西組徳善寺が竣工式。震災後本建築では初めて。土基教務所長が出席。松村総長も出席◆15日16日別院常例法座。講師は堀川宣裕師（城崎組本誓寺）◆16日研修指導部会が別院で。本年度行事の反省と今後について◆NHK文化センター現地講座「古寺散策」が別院本堂で。野々村智範師（奈良教区吉野組祐光寺）が講演◆17日阪神・淡路大震災物故者一周忌総追悼法要が本堂で。土基教務所長が参列◆明石市立勤労福祉会館での「寄せられた善意に感謝し復興を誓う市民の集



法要後の催し大盛況 六甲庵にて

い」に木村久子仏婦委員長が出席。兵庫教区仏教婦人会連盟に感謝権が贈呈される◆姫路西組住職寺族同朋講座・僧侶研修が本徳寺で。講師は近藤龍樹師（加古川組普光寺）◆18日第三回ビハーク活動全国集會幹事会が別院で◆19日23日パーティ8マイノリティからみた阪神淡路大震災パネル展がJR神戸駅地下デュードームで。震災のパネル展であり、例年のような開会セレモニーは自粛されたが、立ち止まってパネ

ルを見ている人は多かった◆20日阪神・淡路大震災物故者一周忌総追悼法要を別院で（一面に別記）◆23日第三連区門徒総代会代表者が京都教務所で◆少年連盟役員会、阪神・淡路大震災援助会スタッフ会を別院で◆「ふれあい一周年イン六甲庵」として一周年法要が西本願寺阪神淡路大震災復興支援連絡協議会主催で。これを最後に六甲庵（神戸東組光円寺内ボランティア拠点）は解散することになった。法要には教区から土基教務所長、上原賛

事、辻岡寺婦委員長、木村仏婦委員長、楠少年委員長、また本山からも長岡社会部長が参列。その後、うどん・たこあげ・甘酒などの炊きだし、ふれあいバザー、アトラクションとしてるんびに太鼓などもあり、ビンゴゲームで豪華商品も。スタッフ二百人が関わり、約千人が参加した。なかには一年ぶりに再会し、涙を流しながら話している人もあった。大和仮設にお住まいの方は「非常に残念です。六甲庵の方々には本堂にお世話になりました」と◆24日大阪教区大阪南組より別院に団体参拝◆25日ビハラコーデイネーター研修会が本堂で◆26日本願寺神戸別院・兵庫教区教務所職員採用試験が別院で。五人が受験。小論文・一般教養・英語・仏教・真宗・面接と一日中試験。受験者の方お疲れさまでした◆27日第一回まことの保育研修懇談会を別院で。今回は初めてを試みで七十六人が参加。講師は滋賀教区保育連盟理事長の丁野恵鏡師（同教区湖北組龍本寺住職）

テーマは「育ちあういのち」子どもが発達とまことの保育！。また仏前結婚式の勧めとして釋氏清子さん（阪神西組源光寺）の指導で模擬仏前結婚式を仏教讃歌を取り入れて行う。研修後メリケンパークオリエンタルホテルにて懇親会◆28日兵庫教区仏壯連盟第二十一回神戸別院大会を別院で。（二面に別記）◆大阪教区スカウト二百人が別院に参拝◆29日寺婦委員長会を別院で。平成七年度活動現況報告。神戸別院・教化センター協賛について。懇志額は四百八十一カ寺より一千八百八万円のご進納と報告。辻岡武子寺婦委員長は「震災で被害にあわれた寺族婦人の方々からのご進納いただき、予想を上回るご進納を頂きました。厚く御礼申し上げます」と。ご本尊ご修復の他、打敷・ご門主用向置などに。聞法研修旅行実施について◆ビハラ兵庫役員会を別院で◆青年僧侶の会会報委員会を別院で◆部落解放基本法制定要求第三期第十九派中央行動が東京で開催。国会

議員署名要請行動◆神崎組安楽寺より別院に団体参拝◆30日布教使育成研修会を別院で。若手布教使の企画で開催。講師は都呂須孝文師（大阪教区島下組光明寺）閉会式で布教団副団長の杉本昭典師（北摂組光澤寺）より「布教の心得、その他の諸問題について様々な教えをいただき、素晴らしい研修会であったと思います。今日の研修を無駄にせず、益々布教活動に力を」とあいさつ◆成徳学園理事長高橋省己氏のご令室の葬儀を別院ホールで◆基本法制定要求中央集會が日比谷公会堂で。

※マイノリティとは：マイノリティ（米語）を直訳すれば、少数派あるいは少数民族となりますが、一般的に使われる意味として社会的に被差別の立場にある人々を指す言葉として使われています。

例えば、障害者、在日外国人、被差別部落民など今日の日本社会において不平等に扱われている人々のことです。

保育研修で模擬結婚式